

図書館だより

2016.01.07.(木)
ノートルダム学院小学校
No.9



明けましておめでとうございます！



1月になりました。元旦から気持ち良いスタートを切ることができたでしょうか。新年を迎えると、楽しいことがたくさんありましたね。初詣やおせち料理、お雑煮、お年玉等々…。なかには、宿題や勉強の時間に有効活用する人もいたと思います。

「一年の計は元旦にあり」ということわざが古くからあります。「一年の計画は年の初めである元旦に立てるべきであり、物事を始めるにあたっては、最初にきちんとした計画を立てるのが大切だ」という意味があるそうです。

目標が大きければ大きいほどいいと言われる。その目標に近づくためには、日々の積み重ね(立てた計画を実行し、達成すること)が大切です。「あと少しで達成できそう…！」と思えるスモールステップ。友達と声をかけ合い、始めてみませんか。

読書も積み重ねが大切です。「今日は、～ページまで。」と自分で決め、読み進めていくといいでしょう。最後には、(前回、お知らせした)読書の葉に書いてみるのも蓄積の1つになりますね。

なくした代本板を見つけるには？

「先生、代本板がありません！」
図書館で、こんな言葉を発したことはありませんか。

大抵は、先生や図書委員の人と一緒に探し、しばらくすると無事に見つかります。

そもそもなぜ、このようなことが起こるのでしょうか。その理由は主に、2点あります。

- ①入れたはずの代本板が浅かったため、床に落ち、拾った人が違う場所に置いたから。
- ②同じ学年の人が代本板の色のみで判断し、取り出したから。

そうならないために、どうすればいいでしょうか。互いに話し合ってみましょう。

1月11日は何の日？



「祝日」とは何でしょう。カレンダー等に毎月、赤く「～の日」と書かれているものです。正しくは、「国民の祝日」と呼ばれています。「より良い社会や豊かな生活を築くために、国民全員が祝い、感謝し、記念する日」だそうです。

1月もさっそくありますね、「成人の日」。成人とは、20歳を指します。「大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い、励ますこと」を目的とします。毎年、各都道府県で成人式が開かれるその意図が分かりますね。

最近では、「1/2成人式」もあります。成人が20歳なら・・・また先生に聞かせてください。